

種まき	定植 (植付け)	栽培のポイント
・ハウレンソウ ・二十日ダイコン ・コマツナ ・シュンギク ・エンドウ など	・タマネギ ・イチゴ など 収穫 ・ハクサイ ・ネギ ・サトイモ ・ダイコン ・ニンジン ・チンゲンサイ ・長芋	ハクサイの管理 追肥・土寄せ 植えつけから2週間後ぐらいに、本葉が10枚程度に成長したら、株元に軽く土寄せし、追肥1週間毎に2~3回与えます。さらに、結球が始まるころに同様に土寄せし、肥料を与えます。外葉を大きくしっかり育てるのが、大きく立派なハクサイをつくるポイントです。 収穫 早生種ならタネまきから65日ぐらいで収穫できます。手で玉を押し、固く締まっていれば、収穫可能です。地際に表土と平行に刃物を入れて、玉を切り取って収穫します。

ハクサイ

害虫・・・発生があった場合は防除しましょう。

アブラムシ 高温乾燥期に多く発生します。発生を確認したら、殺虫剤の散布、または、捕殺等を行いましょ。

ヨトウムシ、アオムシ、コナガ

雨の少ない時期に発生が多くなります。発生があったら、殺虫剤散布を行いましょ。

毎年、常に発生がある場合は、発生初期のBT剤の散布も検討しましょ。

葉表はもちろん葉裏にも十分に散布し、噴霧器は少し圧力を上げ噴口は、3~5頭口で散布すると効果的です。

病害・・・発生が見込まれる場合は予防的な散布が効果的です。いずれの病害も排水を良好にし、被害葉は、早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分します。

べと病（症状：外葉から葉の葉脈間の葉色が抜け、葉裏に白いカビがみられる）
 晩秋の雨が多い時など、比較的低温多湿条件で発生が多くなります。
 また、常に発生する場合は、高畦などで風通しを良くする、施肥量についても検討しましょ

黒斑病（症状：葉に褐色の円形病はん紋が見え、それが輪紋状になっていく）
 肥料切れの場合に発生しやすいため、追肥や施肥量にも注意しましょ。

白斑病（症状：外葉のふちに灰白色の病斑が発生）

晩秋の時期や雨が多い年に発生が多くなります。連作や土壌が酸性、肥料切れの場合でも発生がしやすいです。

軟腐病（症状：葉の基部を中心に発生、悪臭があり、軟らかくなって腐っていく）

多湿、排水不良、多肥、高温などによって発生しやすくなります。虫が食べて傷口から病気がかかる場合もあり、特に、雨が多い条件で発生する

また、常に発生する場合は、高畦などで風通しを良くする、施肥量の検討、アブラナ科野菜の連作を避けるなど対策が必要です。



ふじ

葉摘み 収穫開始予定の30～40日前から、2～3回に分けて行なってください。
1回目 果実に直接着いている果そう葉数枚摘みます。
2回目以降 着色が進むにつれ、果実に十分、光が当たるように行ってください。



玉回し 陽光面が60%以上着色してから実施します。また、支柱立てや誘引も行い、樹の内部や下枝まで光が入るようにしましょう。

適期収穫 11月上旬から収穫します。慌てずに着色や地色、食味を確認しながら選んで収穫してください。

巨峰

収穫は終盤を迎えます。脱粒や軸枯れによるロスを少なくするため収穫を急ぎましょう。

落葉を観察

収穫が終了するとは場を見回る回数が少なくなりがちですが、落葉の様子から受相診断ができます。10月下旬から11月上旬頃に2回程度霜にあうと黄変してきれいに落葉しますが、樹の勢いが強いときや、密植ほ場、窒素が多すぎるほ場では、葉が褐変してきれいに落葉しません。このようなほ場では、施肥の体系やせん定の見直し、間伐を実施してください。

間伐 受光体勢が悪くなったときは、残す樹の葉に十分、光が当たるように間伐を行ってください。凍害が発生しやすい園地は、春に行います。

礼肥 適期です。なたね粕等の有機質の肥料の場合は遅くとも10月上旬までに施してください。

台風対策

台風シーズンを向かえています。防風ネットや棚等の補強、排水、事前に対策を立てておきましょう。

キク

苗床の準備 日当たりと水はけが良く、風があたらない管理しやすいほ場を選び、土壌pHを6.0～6.5に調整しておきます。完熟堆肥を1a当たり300kg、肥料は1a当たり窒素、リン酸、カリとも成分で2kgを施用します。連作となる場合、土壌消毒を行います。これらの準備を半月前までにしておきます。



親株の伏せこみ

低温を十分受けてから伏せこんでください。葉裏に白さび病の病斑がなく、品種の特性を持つ株を選びます。掘り採った親株は、白さび病の予防のため、葉や地上に出ている冬至芽を取り除いた後、株の上根が隠れるように伏せこみます。

伏せ込み後は1週間程度トンネル等で保温して活着を促進させます。活着後は1週間ほどかけて、徐々のトンネルを開けて外気にならしてから、凍みない程度の低温に当ててやります。

かぼちゃを手軽に料理

栄養満点のかぼちゃ、傷まないうちに食べましょう。



かぼちゃとマヨネーズのシソ合え

かぼちゃを薄く切って、電子レンジで加熱しやわらかくしてつぶします。マヨネーズを加えてまぜ、千切りした青シソを入れてあえます。

かぼちゃのチーズ焼き

かぼちゃを薄く切って、皿に並べます。にめんつゆをかけ、とろけるチーズをのせ、電子レンジで加熱します。(出来上がりです。)

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：2868-41-1063

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター 日台

電話番号：0268-25-7156(直通) FAX:0286-23-2161